

令和6年度 第4回 藤沢市立八松小学校 学校運営協議会議事録

開催日時 2024年11月21日（木）午前10時～12時

場 所 八松小学校 第2多目的室

出席委員等	<p>植木 菊治（会長／辻堂地区民生委員） 瀧谷 典子（副会長／八松小学校校長） 山本 あや（本校在籍児童保護者） 吉田 秀樹（辻堂まちづくり会議 辻堂地区防災協議会） 若林 理恵（藤沢市社会福祉協議会 コミュニティ・ソーシャルワーカー） 小野 登紀子（明治地区民生委員児童委員） 猿渡 智香子（辻堂二葉幼稚園園長） 小林 美幸（明治地区民生委員児童委員協議会主任児童委員） 戸塚 渉（藤沢市生涯学習部 渉外学習総務課 明治公民館長） 森本 裕（八松小学校教頭）</p> <hr/> <p>出席委員：10名（欠席委員：3名）</p>
次第	<p>1 開 会 2 会長あいさつ 3 議 題 （1） 学校運営等の議題と解決策の話し合い ① 児童の見守りについて ② 学習活動の支援 ③ 幼稚園や中学校との指導の連続や連携 ④ 地震等災害への備え （2） 2024年度学校評価について ・学校運営協議会委員用アンケート評価項目について 4 その他 すぐーるの登録について 次回以降の会議日程 5 閉 会</p>
協議内容	<p>協議内容 3 （1）学校運営等の課題と解決策の話し合い ① 児童の見守りについて ・副会長 運動会では、リソースルームに通っている児童と家族の見学場所を校内につくった。複数の家族が利用し、好評だった。 委員の方からリソースルームの協働活動サポーターを紹介していただいた。リソースルームに関わるスタッフが増えて、大変助かっている。 リソースルームを毎日開いてほしいというニーズがあるので、スタッフが配置できない日でも、保護者同伴という条件でリソースルームの利用を認めている。毎日開くためには、まだスタッフが足りないのので、今後も協働活動サポーターを探したい。 神奈川県地域学校協働活動推進事業補助金の申請について、前回の本協議会にて承認されたが、運用規定により花壇や施設整備</p>

	に係る費用は学校予算で行うことになった。
・委員	高浜中と高砂小、浜見小の3校合同の学校運営協議会では、地域ボランティアの人材確保について協議をしている。湘南工科大学では、学生が地域支援活動を行うと単位取得になる取り組みを始め、現在湘洋中と高浜中で学習支援をしている。今後八松小への派遣を依頼している。
・委員	辻堂市民センターには、いくつものサークルが活動している。そのサークルを学校に派遣する取り組みを今後始めていく。
・副会長	リソースルームの子どもたちに、学級と同じような様々な体験を提供したいと思っているので、たいへんありがたい。
・委員	どの地域でも人材が育っていない。地域を支える次世代の人材が不足している。専門性がある方は、公民館サークルに所属している。今後、公民館と地域課が統合するまでに、人を育てることが課題である。
・委員	辻堂にはたくさん的大学生が住んでいるので、地域の人材を補ってあげればよい。
	② 学習活動の支援について
・副会長	2学期は、5年生のミシンを使う学習において、保護者ボランティアが入ってくれた。とてもありがたかった。また、2年生では、収穫したさつまいもを保護者ボランティアが調理してくれた。さつまいもを食べた子どもたちが喜んでいて、保護者同士の交流の場にもなった。
・会長	課題はあると思うが、これからもっと知恵を出して、学校と保護者がつながっていけば、安心して充実した活動ができると思う。
	③ 幼稚園や中学校との指導の連続や連携
・副会長	先日、幼稚園の年長が表現運動で難しい技に取り組んでいた。年長さんが辛抱強く頑張っている姿に驚いた。小学校の1年生は、いろいろな園から入学してくるので、一から学び直す機会になっている。
・副会長	本校では、リソースルームに登校している子どもたちのテストの受け方について検討する際、中学校の方法を参考にした。校種間でギャップがないように連続性を考えていきたい。
・会長	大人と子どもはつながりやすいが、子どもと子どもをつなげていくことは簡単ではない。今後の課題だと思う。
	④ 地震等災害の備えについて
・副会長	本校は、児童用の食料と飲料水の備蓄を学校で検討している。今後の学校の地震等災害の備えについて意見を伺いたい。
・委員	防災倉庫に保管されている物品の中で食料はビスケットしかない。住民が避難してきた場合、児童分は賄えない。
・委員	市民センターには、おかゆ・カンパン・水が保管されているが、児童用ではない。
・委員	災害用のマンホールトイレを設置するまでには時間がかかる

<ul style="list-style-type: none"> ・副会長 ・委員 ・委員 ・委員 ・委員 	<p>ので、その前に簡易トイレが必要だと思う。1人1日5回分使う。学校には保管されているのか。</p> <p>現在のところ、学校では備えていない。</p> <p>トイレが壊れるまで使っていいと思うが、災害時のトイレ使用についてルールがあるのか。これは市内全小学校で考える問題だ。</p> <p>幼稚園では水とカンパンを入園児に購入してもらっている。学校は避難所になっていて安心だと思っていたが、食料がないことを知らなかった。</p> <p>災害時は、自助・共助・公助が必要だが、公助はすぐにやってこない。まずは自助と共助に頼るしかないが、行政は自助・共助の部分にも支援するべきだ。地震はいつ来るかわからない。まったなしの問題。</p> <p>子どもたちは災害弱者である。行政が支援すべきだ。</p>
<p>(2) 2024年度学校評価について</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・副会長 ・委員 ・副会長 ・委員 ・副会長 ・委員 ・会長 ・会長 	<p>前回の協議会で案を示した。評価項目についてご意見を伺いたい。</p> <p>4番のあいさつ等の項目は、学校内の様子を評価すればよいのか。それとも学校外・地域での様子を評価すればよいか。</p> <p>委員は、学校内での様子をあまり見る機会がないと思うので、地域での様子を評価してほしい。</p> <p>教職員の働き方を詳しく見る機会がないので、6番と7番は評価しにくい。</p> <p>裏面の自由記述欄だけ記入していただくのはどうか。</p> <p>1～11番すべての項目を評価するのは難しいけれど、評価できる項目もあるので、評価できる項目だけ記入する方法でよいのではないか。</p> <p>委員それぞれに、無理のない範囲で評価するということで決定します。</p> <p>大変貴重なご意見をいただいた。次回以降も、学校の課題について協議を続けていく。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>

次回開催予定：2025年2月20日（木）午前10時～
場所：藤沢市立八松小学校 第2多目的室